

今月のことば

ものさしの
ない世界が
私の人生を
根底から
まえてくれる

(小池秀章)

ある大学生が、

「高校生の時、しんどい時期があっただけけれど、社会とは違うものさしに出遇^{であ}うことが出来て、救われた。その社会とは違うものさしを与えてくれたのが、浄土真宗という教えだった。」という話をしてくれました。

社会のものさし(価値観)とは、例えば、「テストでいい点を取らないとダメ」「学力の高い学校に入らないとダメ」「有名な会社に就職しないとダメ」など、多くは、何かが出来るかどうかというものさしで、出来る人はいいけど出来ない人はダメだというものさしです。また、お金や権力、地位や名誉があるかないかというものさしもあるでしょう。私たちはそのような社会のものさしによって、苦しめられているのではないのでしょうか。

しかし、それらのものさしとは、全く違うものさしを与えてくれるのが、宗教(浄土真宗)なのです。仏さまは、何かが「出来る出来ない」「あるかないか」を超えて、全てのいのちは、かけがえない尊いいのちであると見てくださいます。みんな、仏さまのはたらきに包まれた尊い存在なのです。

仏さまのものさしは、社会とは違うものさしというより、「仏さまには、私たちのようなものさしが無い」と言った方がいいと思います。そのような、ものさしのない世界(仏さまの世界)が、社会のものさしに苦しみ悩まされている私たちの人生を、根底から支えてくれるのです。

合掌

龍谷大学非常勤講師

こいけひであき
小池秀章